

2015年上半期の覚せい剤、大麻、あへん等の薬物事犯で検挙された件数は8974件（前年同期比500件増）、検挙人員は6239人（同188人増）でした。

危険ドラッグ

グ事犯は、検挙件数が63

3件（同506件増）、検挙人員は689人（同545人増）でした。

指定薬物に係る医薬品医療機器法（旧薬事法）違反は500事件（同459件増）、検挙は538人（同

今年上半期の薬物事犯状況

486人増）でした。

危険ドラッグ入手先は、街頭店舗が186人で最も多く、次がインターネットの164人でした。密造業者には、ネットで注文を受けて宅配

便で送る業者もいて、誰でも容易に危険ドラッグ

が入手できる状況は変わっていません。合法や安全という言葉を信用せず、薬物に手を出さない——との強い意志を持ちましょう。

防犯一口メモ